

八代市立幼稚園再編基本方針(案)に対する意見募集の結果

1. 意見募集の期間 令和5年10月1日(日)から令和5年10月31日(火)まで

2. 意見提出者数 個人:24人、団体:0 (項目 44件)

3. 意見の種類

(1)賛成	15件
(2)反対	1件
(3)提案	23件
(4)その他(質問・意見など)	5件

4. 意見の取扱い

(1)反映(意見を踏まえ内容の修正等を行ったもの)	0件
(2)参考(今後の業務の参考とさせていただくもの)	39件
(3)補足(寄せられた意見に対して市の考え方を補足説明するもの)	0件
(4)回答(質問やお尋ねなどに対して回答するもの)	4件
(5)対応なし	1件

No.	該当箇所 (ページ・項目)	意見の概要	意見に対する本市の考え方	意見の種類	意見の取扱い	意見の件数
1	P1 1 背景及び経緯 (2)答申を受けての取組	・持続可能な園経営に向けての取組として、園の見学や体験、取組の周知などもっと幼稚園の特色や日々の内容を知ってもらうことが必要。	持続可能な園経営に向けての取組として、園の見学や体験、園だよりによる取組の周知等はこれまでも行っていますが、さらにホームページの紹介など周知をしていきます。	提案	参考	2
2		・預かり保育、夏季休業中の預かりについては、預かり時間が短いため利用しにくい。時間をもっと延長してほしい。 ・また、夏季休業中の預かりは自園で実施したり、料金を下げるなど、もっと様々な人が利用できるようにしていくべきだと考える。 ・子ども同士の共に育つ機会を増やすために、他の幼稚園の同じ年の子どもたちと定期的に交流や活動する日があるといいと思う。	本市では、保護者の方の就労状況等に応じて適した施設をご案内しています。 預かり保育の拡充については、子供たちの成長への影響について十分配慮しながら再編に向けての取組の中で検討いたします。 また、預かり保育料については市立保育園に準じて利用料を決定しています。今後、担当課と協議していきます。	提案	参考	9
3		少子化は国レベルでの課題であり、八代市立幼稚園のみならず、各園の園児数減少は現実である。ここ数年、いろいろな取組を導入しているが、思うような成果がないのは残念である。以前より実施している小中学校との連携、特別支援教育などをアピールしていくことも大事と感じる。	今後も幼稚園の特色として、引き続き幼稚園と小中学校との連携や特別支援教育の充実を図るとともに、このような取組について紹介していきます。	提案	参考	2

No.	該当箇所 (ページ・項目)	意見の概要	意見に対する本市の考え方	意見の 種類	意見の 取扱い	意見の 件数
4	P4～6 4 現状と課題 (1) 現状	<ul style="list-style-type: none"> 園児数は少ないが、公立幼稚園の教育を希望する保護者も一定数いる。その市民の方の思いを大切にするために公立幼稚園は残すべきである。しかし、集団としての教育活動を進めていく難しさを実感している。集団力が育つような園児数の確保は大切だと考える。 1クラス少人数の園児数では不安である。クラス的人数が少なくなり、転園させた方がいいか悩んでおり、市立幼稚園・保育園の統合、認定こども園化にするのは賛成。 	<p>「八代市立幼稚園の規模適正化等審議会」から「本市で幼稚園教育は大切にされてきた教育であり存続が必要であること、幼稚園教育の目的を果たす望ましい集団の確保が必要である等の答申を受けております。</p> <p>これまで実施されてきた幼稚園教育のよさを継承し、幼稚園を発展的に残していくとともに、施設過多の状況を鑑み市立幼稚園の再編を考えていきます。</p>	賛成	参考	6
5	(2) 課題	<ul style="list-style-type: none"> 園児の教育活動への影響ばかりが問題視されているが、保護者の世帯数減少、共働き世帯の増加で、後援会活動が逼迫している。 	園児数の減少にともない、保護者数も減少し、後援会活動の一世帯にかかる役割も大きくなっていることと思います。市立幼稚園の再編等により一園あたりの園児数が増えれば保護者の役割も小さくなると考えます。	提案	参考	4
6		<ul style="list-style-type: none"> 就園率は、ほぼ横ばいであり、幼稚園が選ばれていない訳ではない。在園児だけではなく市内の未就学児を持つ保護者からも意見を聴取してほしい。 	<p>近年の共働き世帯の割合の増加等により、幼稚園関係の就学率は7%前後となっており、今後大きく増減する可能性は少ないと考えています。</p> <p>これから健康福祉部が計画策定に当たり就学前児童保護者にニーズ調査をする予定です。それに合わせて意見を聴取し、今後の再編にいかしていきます。</p>	提案	参考	1
7	P7 5 再編に向けた基本方針 (1) 再編による取組の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> 全市的視点で幼稚園の統廃合、公立保育所との認定こども園への移行を早急に検討してほしい。 また、こども家庭庁が創設されたこともあり、八代市でも就学前の子どもについては教育委員会とこども未来課で施設類型で管轄を分けずに就学前にかかる教育保育を統括する担当部署を一本化する等、組織の抜本的見直しをお願いしたい。 	<p>市の行政組織の見直しについては、市の組織全体に関わることであり、市長部局等との協議が必要と考えています。</p> <p>就学前教育の充実に向けて、引き続き学校教育課とこども未来課で連携を強化していきます。</p>	提案	参考	2
8		<ul style="list-style-type: none"> 八代市には他市町村と比べても公立幼稚園、保育園が非常に多くある。他市町村では民営化もしくは統廃合がすでに進んでいる。本市の私立の幼稚園、保育園、認定こども園など、教育保育を担っている施設は各校区に存在しており、教育保育の拠点の役割を果たしていることから、現在の公立幼稚園の運営状況は地域における教育センターとしての役割をすでに果たせなくなっている。 	<p>少子化が進む中で本市に74の幼児教育・保育施設があることは施設過多の状況であり、市立幼稚園の再編を進めていかなければならないと考えています。</p> <p>今後も市内の各幼児教育・保育施設のこれまでの取組等も参考にしながら、さらに連携を図り、就学前教育の充実に取り組んでいきます。</p>	提案	参考	1
9		<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士が「ともに育つ機会」を保障するためには統廃合を早急に進める必要があると考えられる。八代市全体の市立幼稚園園児数を見ても、1～2園に集約して運営することは難しくない。 小学校へ入学するときの集団を考えると心配はある。今後は段階的に対策を行っていくことが必要かなと思った。 	「八代市立幼稚園再編基本方針」に引き続き「八代市立幼稚園再編基本計画」を早急に策定し、市立幼稚園の再編に取り組むたいと考えていきます。	賛成	参考	4

No.	該当箇所 (ページ・項目)	意見の概要	意見に対する本市の考え方	意見の 種類	意見の 取扱い	意見の 件数
10	P7 5 再編に向けた基本方針 (3)検討の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 「子供ファーストの視点で」がすべてである。親(大人)のためでなく、子供の成長や幸せを第一に考えた再編を計画、実行していただける八代市に期待している。 「生きる力」の基礎を育む上で、幼児期の教育はとても重要。市立幼稚園が「地域における幼児期の教育のセンターとしての役割」を果たし、保護者ニーズに対応しながら、質の高い保育の提供のためには、人員配置を含めて総合的な再編計画が必須である。 	幼稚園の再編については、その園の卒園生や勤務された先生方、地域の方々の様々な思い入れがあると思いますが、八代の未来を担う子供たちにとってどのような教育環境がよいのかを第一に考え、再編に取り組んでいきます。	賛成	参考	5
11	該当箇所以外	<ul style="list-style-type: none"> 今までと変わらず、地区にそれぞれ幼稚園があってほしい。 少人数であるからこそ、担任の先生一人ではなく全員の先生方が子どもに声をかけてくださり、保護者に小さな気づきも成長も教えてくださるので、安心して子どもを預けることができる。 	「八代市立幼稚園規模適正化等審議会」からは幼稚園教育の目的を果たす必要な集団として、3歳児10人程度、4歳児10～20人程度、5歳児15～20人程度との答申を受けています。 集団の規模が大きくなっても、引き続き園児一人一人に丁寧に关わる教育を大切にしていきます。	反対	参考	1
12		<ul style="list-style-type: none"> 今後は他市町村でも行われているように、段階的に6園を再編して行くことが必要かと思った。ただ、他校区から通園もあるので駐車場の整備は必要と感じる。 	市立幼稚園の敷地の関係で十分な駐車場のスペースが確保されていない園があり、課題としてとらえております。すぐに対応できない状況ですが、再編を進める上でも協議をしていきます。	提案	参考	2
13	質問等	<ul style="list-style-type: none"> 市立園児数の低下は、保育料無償化に伴い益々減っていくのではないかと懸念しています。具体的に2園統合を検討されているのですか。 	今回のパブリックコメントを参考にしながら、今後検討していきます。	その他	回答	1
14		<ul style="list-style-type: none"> 定員に満たっていない施設はどのくらいあるのか。 1号認定者の受け入れに余裕のある施設はどのくらいあるのか。 	公立・私立幼稚園、保育所、認定こども園の65施設のうち、定員に満たない施設は39施設になります。 また、1号認定者の受け入れ可能な施設は、13施設中、11施設になります。	その他	回答	1
15		<ul style="list-style-type: none"> 今後、合併等も視野に入れているのであれば教えてほしい。 	市立幼稚園の再編であれば、それを含めて検討していきます。	その他	回答	1
16		<ul style="list-style-type: none"> 全体を通して文書の主張がはっきりと読み取れない。幼稚園の数を減らしたいのか、園児の絶対数を増やしたいのか、他の手段なのか書いてありそうで見つからない。 	市立幼稚園の再編の内容については、今後、策定する再編基本計画の中で具体的に示していきたいと考えています。	その他	回答	1
17		<ul style="list-style-type: none"> ない 		その他	対応なし	1